

薬物「ダメ。ゼツタイ。～子どもにその一線を越えさせない～」

緊急メッセージ

「薬物は子どもたち一人一人の身近に迫っています」そして「子どもたち自身が、大人の目の届かないところで、こうした違法薬物、そして薬物の危険性に、手を伸ばせば、直ぐに届く環境におかれています。」

私たち大人一人一人がこの現実と危機意識を共有し、子どもたちの命と未来を守り抜く「京都是ぐくみ憲章」の理念の下に、子どもたちの心に届く取組を進め、子どもに「その一線」を越えさせないために、一致団結して取り組みます。

○ 子どもたちへ

ぜったい たいま やくぶつ しょう
～絶対に大麻をはじめとする薬物を使用してはいけません～

たいま やくぶつ しょう のう こわ こころ からだ
大麻をはじめとする薬物の使用は、脳を壊し、心と体をぼろぼろにします。自分だけでなく、家族や友人など身近な人の人生を狂わせてしまいます。「1回くらいの使用なら大丈夫」「タバコより害が少ない」という情報は間違いです。

やくぶつ しょう さそ ぜったい ことわ ことわ こわ ば に
薬物の使用を誘われても絶対に断りましょう。断れなくて怖くなったら、その場から逃げましょう。そして、かなら せんせい ほごしゃ そうだん
必ず先生や保護者に相談しましょう。

○ 保護者の皆さんへ

～お子さんに、正しい知識と危険性を伝えましょう。

子どもの様子を見守り、気になることがあれば学校や警察に相談しましょう～
親として、正しい知識をお子さんに伝え、危険から守りましょう。お子さんに「あなたを大切に思っている」ことを伝え、絆を深めましょう。そして、しっかりと見守り、少しでも気になることがあれば、学校や警察に、連絡しましょう。

○ 地域の皆さんへ

～気になる子どもを見かけたら、学校・警察に連絡しましょう～

多くの目で子どもたちをしっかりと見守り、少しでも気になる子どもを見かけたら、学校や警察に連絡しましょう。

○ 教職員へ

～強い危機意識を共有し、指導・働き掛けを徹底しましょう～

学校全体で、子どもたちの小さな変化やささいな兆候を見逃さず、手遅れの無い対応と心の通った指導を徹底しましょう。そして、子どもたちに、薬物についての正しい知識と危険から身を守る方法について指導・働き掛けを徹底し、子どもの自己指導力を高めましょう。

平成31年3月26日

京都市PTA連絡協議会、京都是ぐくみネットワーク、京都市地域生徒指導連合会、京都「おやじの会」連絡会
京都市小学校長会、京都市立中学校長会、京都市立高等学校長会、京都市立総合支援学校長会、京都市教育委員会